



今、子供にとって大切なことは

今年もあとわずかとなりました。コロナ禍が少し落ち着きを見せたところに、今度は熊の出没となかなか心が落ち着きません。しかし、釜ヶ渕地区の皆様のおかげで子供たちは、安全に登下校することができています。本当にありがとうございます。

さて、学校ではコロナ禍のストレスが子供たちの発育に影響を与えていないかを案じています。運動等の活動や人的な交流の制限は、子供たちの健やかな育ちを妨げていることを感じます。また、インターネット、リモート等の活用が進む中、子供たちの情報リテラシーについても課題があります。誹謗・中傷、過激な映像、情報の視聴等、使用する子供たちを含め大人である我々のモラルや子供への指導が以前よりも求められています。無論便利な道具を排除することはできません。あくまで使用する我々に選択権はあるのです。よって情報を取捨選択する判断力や円滑なコミュニケーションの基となる力を付ける教育が一層求められている時代であると考えます。

このような議論がなされるとよく提示されるのが「道德教育」、「家庭教育」、「地域・社会教育」です。しかしながら、そのような場や時間が設定されているだけで解決できる課題ではないと考えます。その場や時間で、素直に自分の内を見つめ、自分のよさをしる、自分だけでなく周りの人、もの、ことを大切にしようとするなど、実感の伴った経験をさせることが必要です。

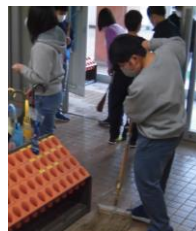
上記のことを踏まえますと、渕水っ子はとても良い環境に過ごしています。保護者・地域の皆さんの仲が良く、協力しながら取り組んでいる姿を見て、子供たちは生きた学びができています。また釜ヶ渕ピース等のスポーツ少年団活動や公民館活動といった取組が盛んであり、保護者と共に子供たちが最後までやり遂げる経験やマナーを体得しています。また、同級生とのつながりだけでなく、子供たちには先輩・後輩、家族、兄弟等多様なかわりの中で、自分のポジションを意識してらしをつくっています。これらは、人が人として成長する上で大切な環境です。

「子供時代には、できるだけ美しいものに触れさせる」という先人の格言があります。美しい風景、心の温まる物語、素敵な感動が伴う体験。そして何より子供の前に立つ私たち大人が、子供たちにとっては生きたお手本であり、教材なのです。

冬休みが近付いてきました。どうか子供たちがすくすくと素直に正しく伸びるよう、ご協力の程お願いします。



渕水タイム
ボランティア



Nice to meet
you.



新しいALT（アリョーナ先生）との授業